

# 学会印象記

## 第8回 DDS 再生医療研究会 [第10回多血小板血漿 (PRP) 療法研究会と共催]

2018年11月18日(日)

ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター

会長：森本 尚樹 (関西医科大学形成外科学講座 准教授) 第8回 DDS 再生医療研究会

楠本 健司 (関西医科大学形成外科学講座 教授) 第10回多血小板血漿 (PRP) 療法研究会

城 潤一郎

京都大学ウイルス・再生医科学研究所 生体材料学分野

DDS 再生医療研究会は、再生医療のためのドラッグデリバリーシステム (DDS) の研究および臨床応用について議論を行う場として設立された研究会である。2011年に設立され8回目となる研究会が、2018年11月18日、ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンターで開催された。関西医科大学形成外科学講座准教授の森本尚樹先生が会長を務められた。今回の研究会は、多血小板血漿 (PRP) を用いた治療について、学術的立場で基礎的、臨床的検討を行い、よりよい治療に高めることを目的とする PRP 療法研究会 (第10回、会長：関西医科大学形成外科学講座 教授・楠本健司先生) との共催となった。今回の研究会では、20件の一般講演、ランチョンセミナーおよび2件の特別

講演が行われ、約90名が参加した。

1つ目の特別講演では、厚生労働省医政局研究開発振興課再生医療等研究推進室・再生医療等対策専門官の藤原なほ先生が、「再生医療等安全性確保法実施の現状と臨床研究法について」について講演された。2014年11月に施行された再生医療等の安全性の確保等に関する法律 (再生医療法) の下で実施されている再生医療等の実施状況と、臨床研究法施行 (2018年4月) に伴う、再生医療法施行規則の改正に関する解説が行われた。

2つ目の特別講演は、京都大学ウイルス・再生医科学研究所生体材料学分野・教授の田畑泰彦先生による「再生医療におけるドラッグデリバリーシステム



研究会中の風景